

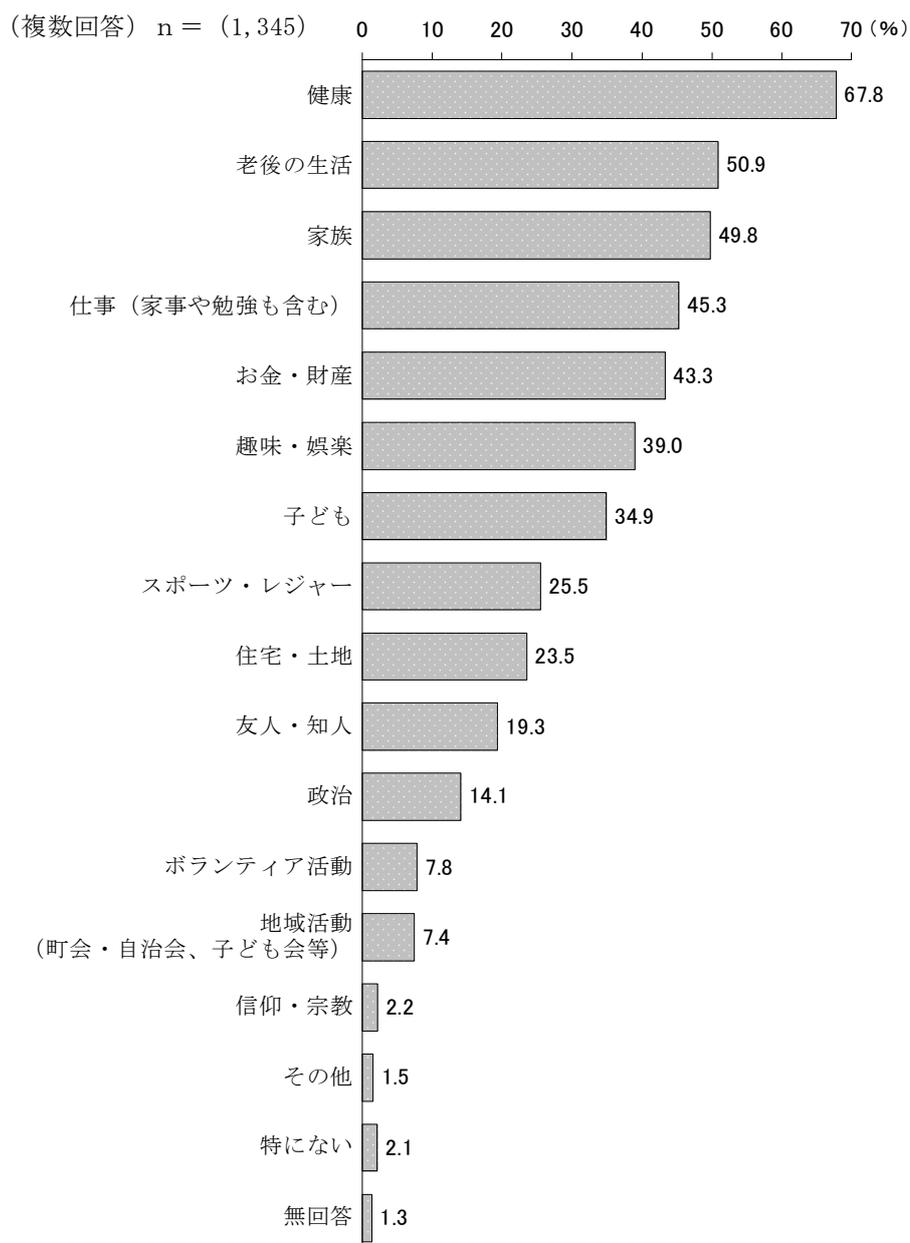
3 関心ごとと行動範囲について

3-1 関心を持っていること

◎「健康」が67.8%

問5 あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

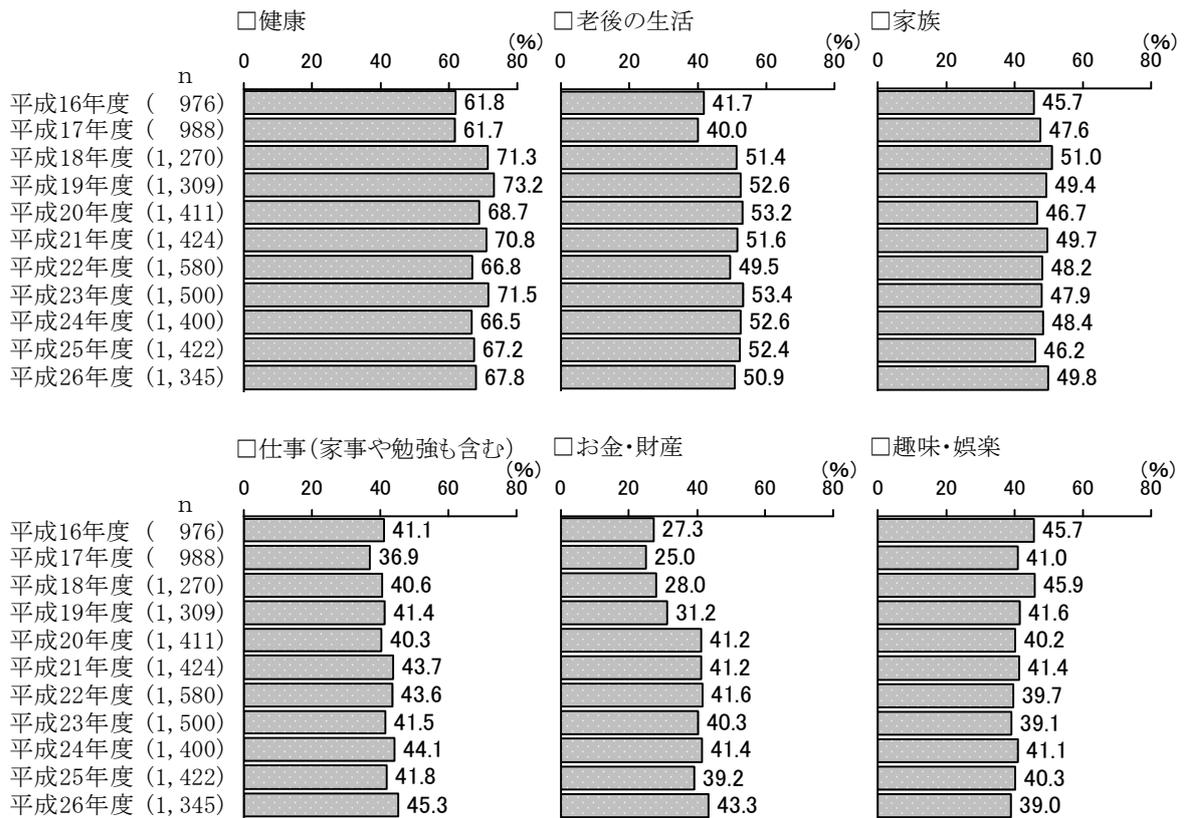
図表3-1 関心を持っていること



関心を持っていることは、「健康」(67.8%)が最も多く、次いで「老後の生活」(50.9%)、「家族」(49.8%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(45.3%)、「お金・財産」(43.3%)の順となっています。

(第2回アンケート)

図表3-2 関心を持っていること(経年比較、上位6項目)

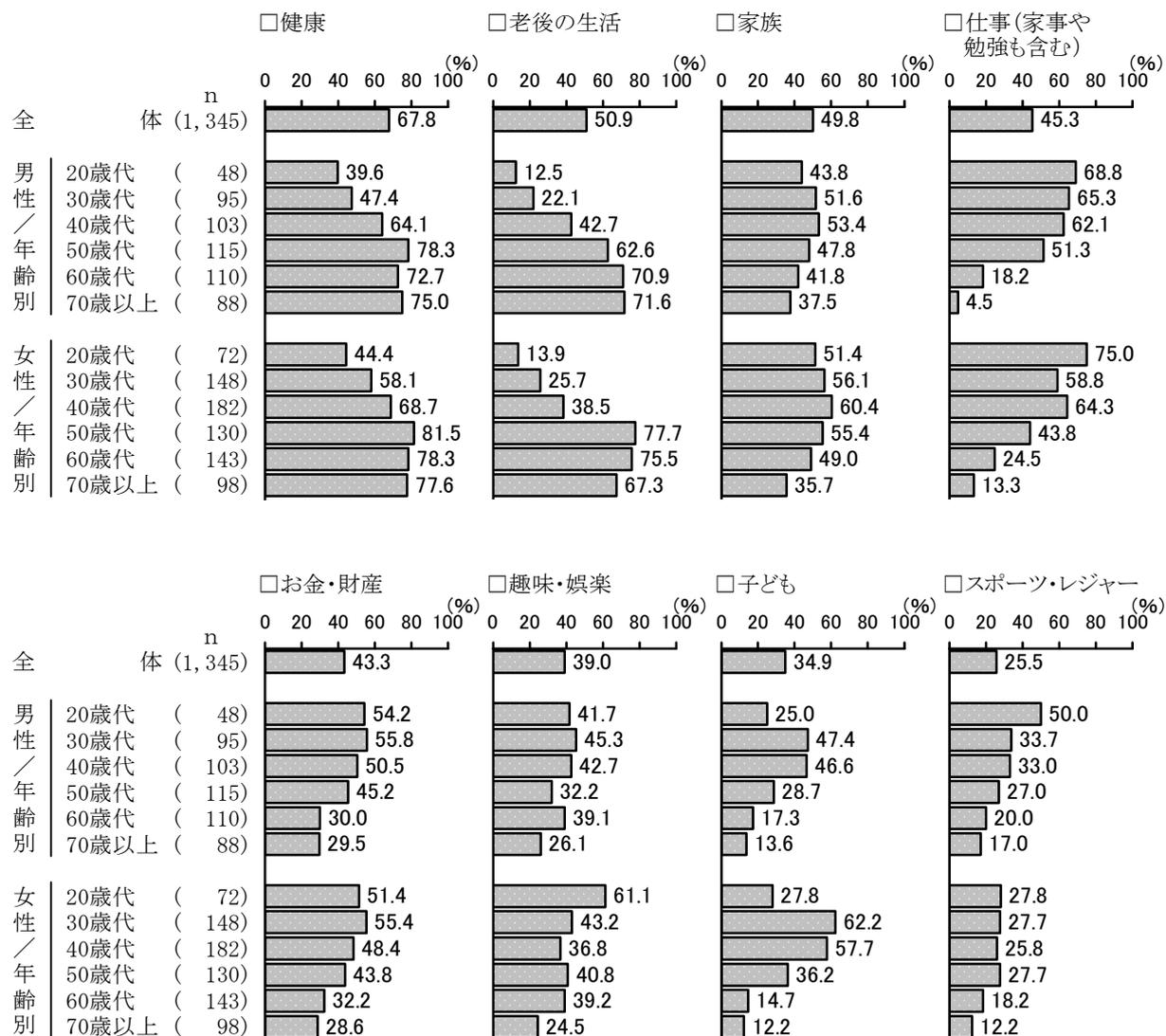


年度	順位	関心を持っていること (%)								
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位			
平成16年度	健康	61.8	家族/趣味・娯楽	45.7	老後の生活	41.7	仕事(家事や勉強も含む)	41.1	子ども	34.5
平成17年度	健康	61.7	家族	47.6	趣味・娯楽	41.0	老後の生活	40.0	子ども	37.7
平成18年度	健康	71.3	老後の生活	51.4	家族	51.0	趣味・娯楽	45.9	仕事(家事や勉強も含む)	40.6
平成19年度	健康	73.2	老後の生活	52.6	家族	49.4	趣味・娯楽	41.6	仕事(家事や勉強も含む)	41.4
平成20年度	健康	68.7	老後の生活	53.2	家族	46.7	お金・財産	41.2	仕事(家事や勉強も含む)	40.3
平成21年度	健康	70.8	老後の生活	51.6	家族	49.7	仕事(家事や勉強も含む)	43.7	趣味・娯楽	41.4
平成22年度	健康	66.8	老後の生活	49.5	家族	48.2	仕事(家事や勉強も含む)	43.6	お金・財産	41.6
平成23年度	健康	71.5	老後の生活	53.4	家族	47.9	仕事(家事や勉強も含む)	41.5	お金・財産	40.3
平成24年度	健康	66.5	老後の生活	52.6	家族	48.4	仕事(家事や勉強も含む)	44.1	お金・財産	41.4
平成25年度	健康	67.2	老後の生活	52.4	家族	46.2	仕事(家事や勉強も含む)	41.8	趣味・娯楽	40.3
平成26年度	健康	67.8	老後の生活	50.9	家族	49.8	仕事(家事や勉強も含む)	45.3	お金・財産	43.3

注:「お金・財産」は平成19年度調査までは「金・財産」であった。

上位6項目の過去の推移では、平成25年度調査と比較すると、上位4項目に順位の変動は無いが、「お金・財産」は4.1ポイント増加し6位から5位、「趣味・娯楽」は1.3ポイント減少し5位から6位となっています。

図表3-3 関心を持っていること(性/年齢別、上位8項目)



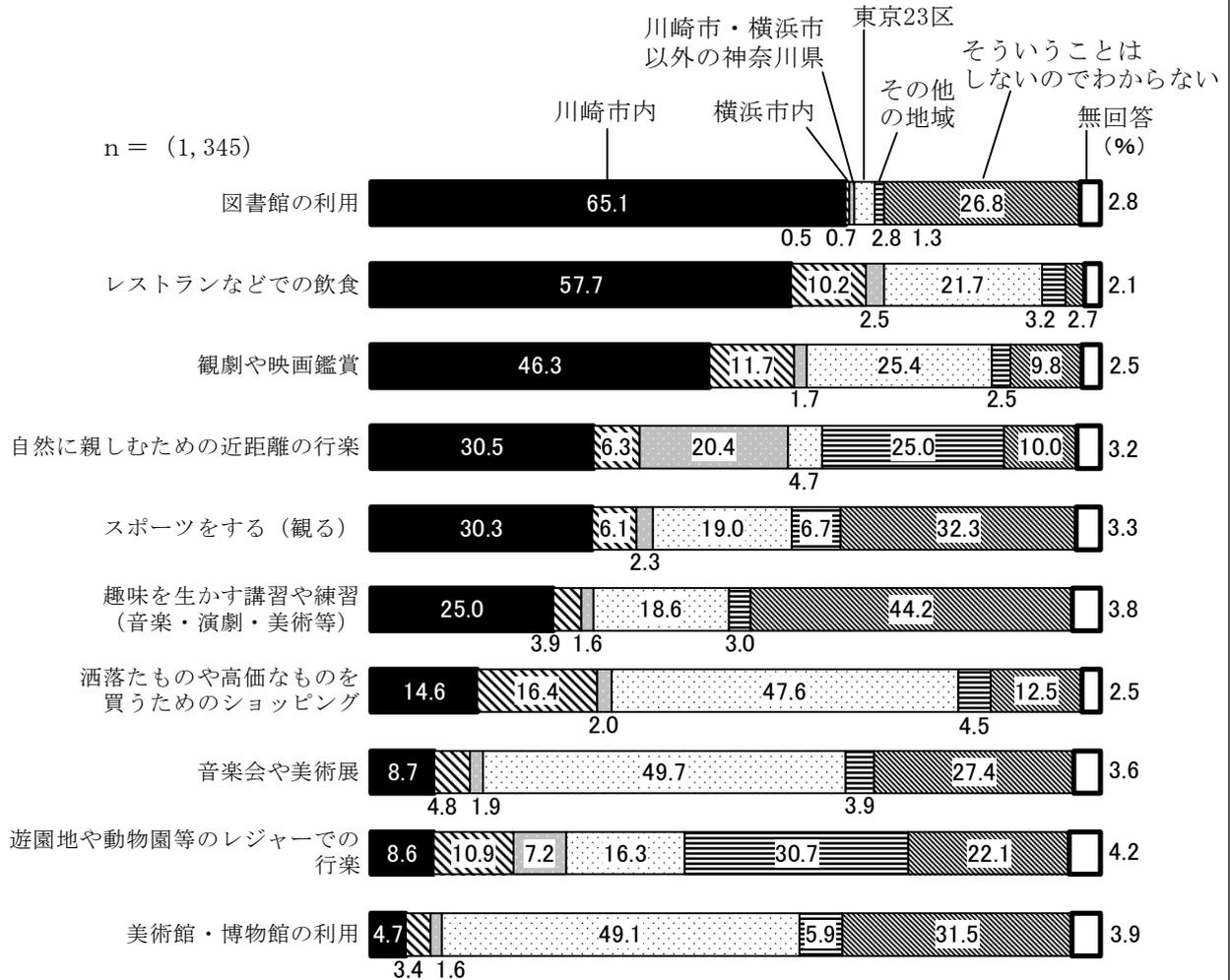
性/年齢別では、「健康」は、男女とも50歳代以上の年代で7～8割台と多くなっています。「老後の生活」は、女性の50歳代(77.7%)と60歳代(75.5%)で多く、男性では高い年代ほど多くなる傾向となっています。「仕事(家事や勉強も含む)」は、男女ともにおおむね低い年代ほど多くなる傾向で、特に男女ともに20歳代(男性:68.8%、女性:75.0%)で多くなっています。

3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も多いのは、「図書館の利用」で65.1%

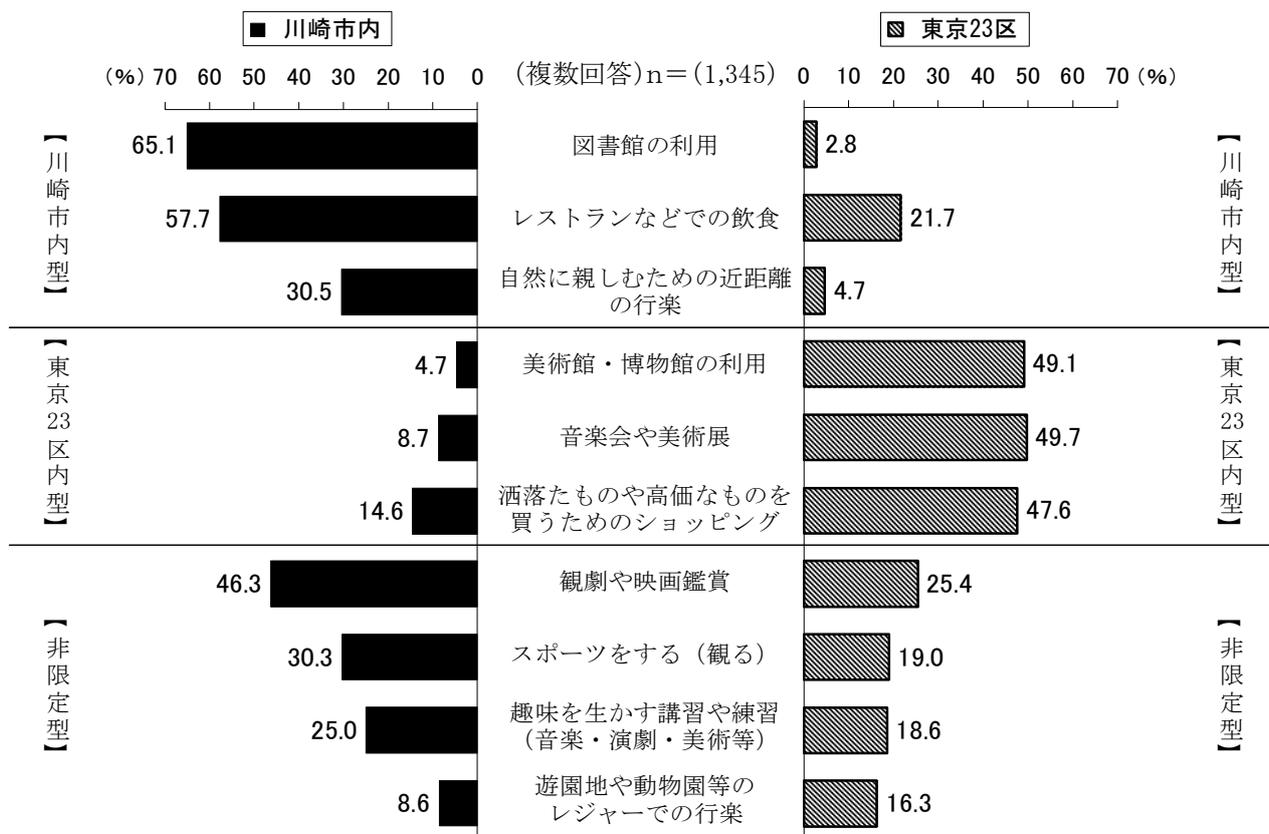
問6 あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

図表3-4 行動範囲



川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も多いのは、「図書館の利用」(65.1%)で、次いで「レストランなどでの飲食」(57.7%)、「観劇や映画鑑賞」(46.3%)の順となっています。一方『東京23区』が最も多いのは、「音楽会や美術展」(49.7%)で、次いで「美術館・博物館の利用」(49.1%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(47.6%)の順となっています。

図表3-5 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』との比較)



各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下のようになります。

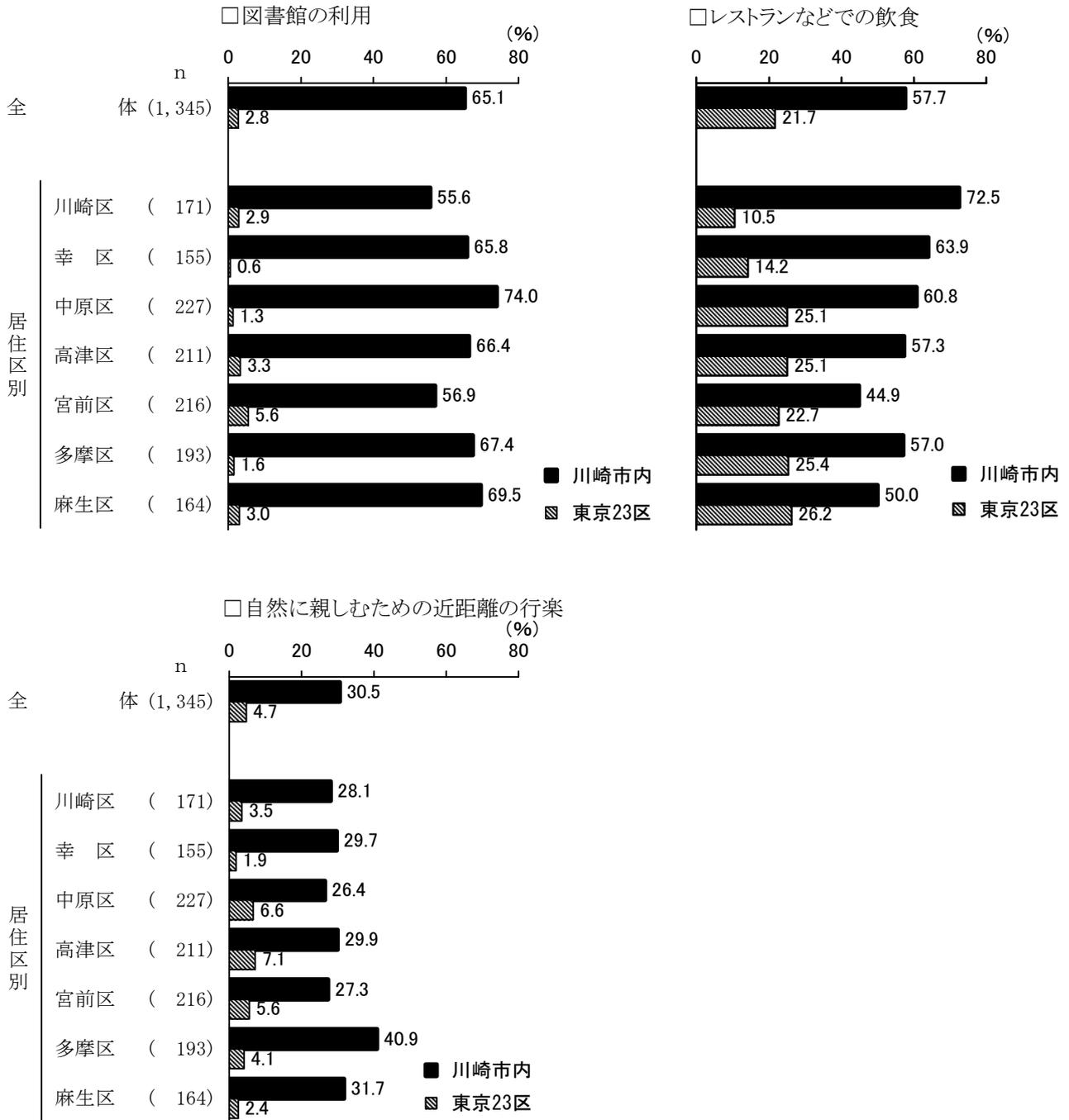
【川崎市内型】・・・ 図書館の利用
 レストランなどでの飲食
 自然に親しむための近距離の行楽

【東京23区内型】・・・ 美術館・博物館の利用
 音楽会や美術展
 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング

【非限定型】・・・ 観劇や映画鑑賞
 スポーツをする(観る)
 趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)
 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

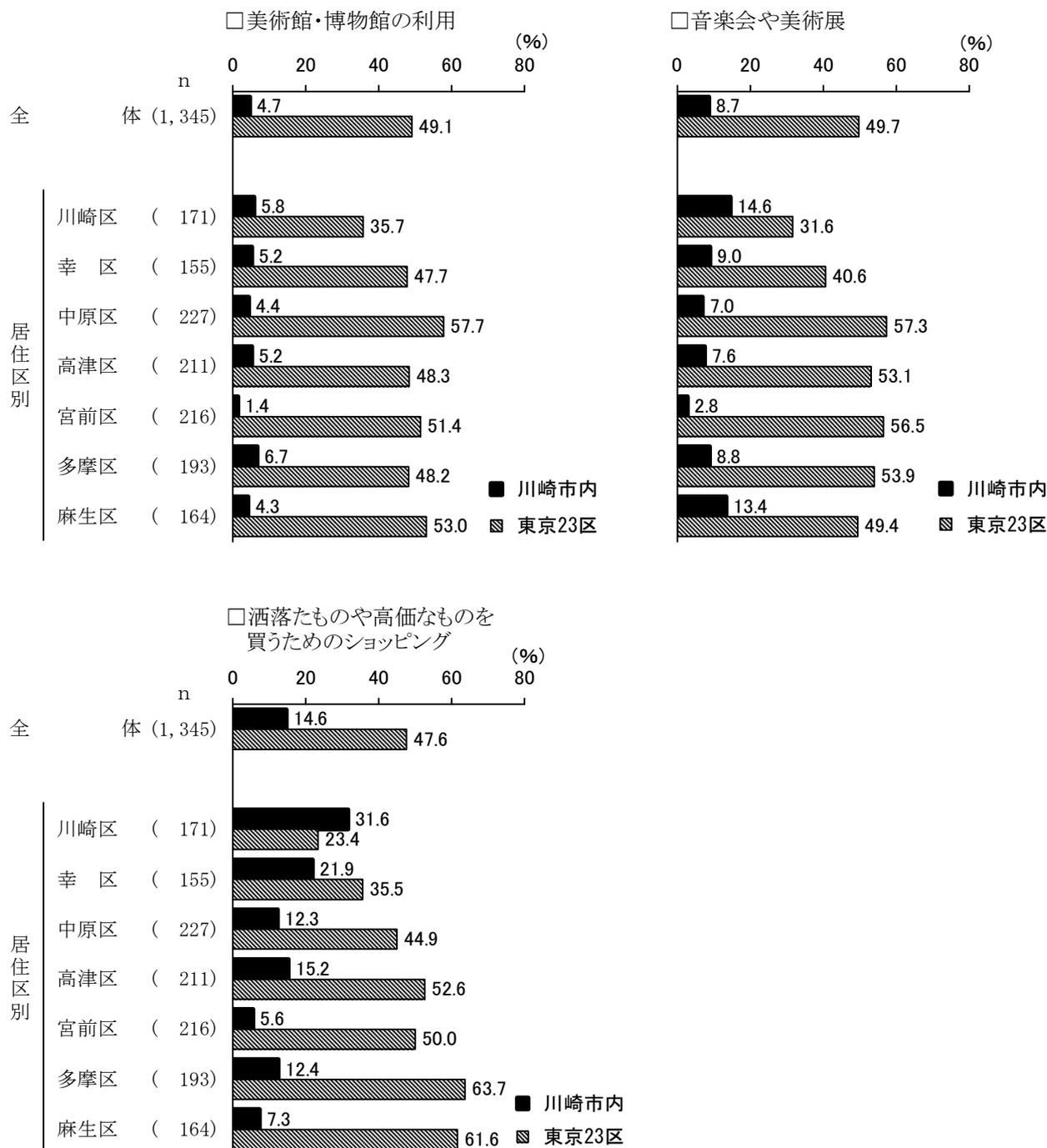
(第2回アンケート)

図表3-6 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別【川崎市内型】



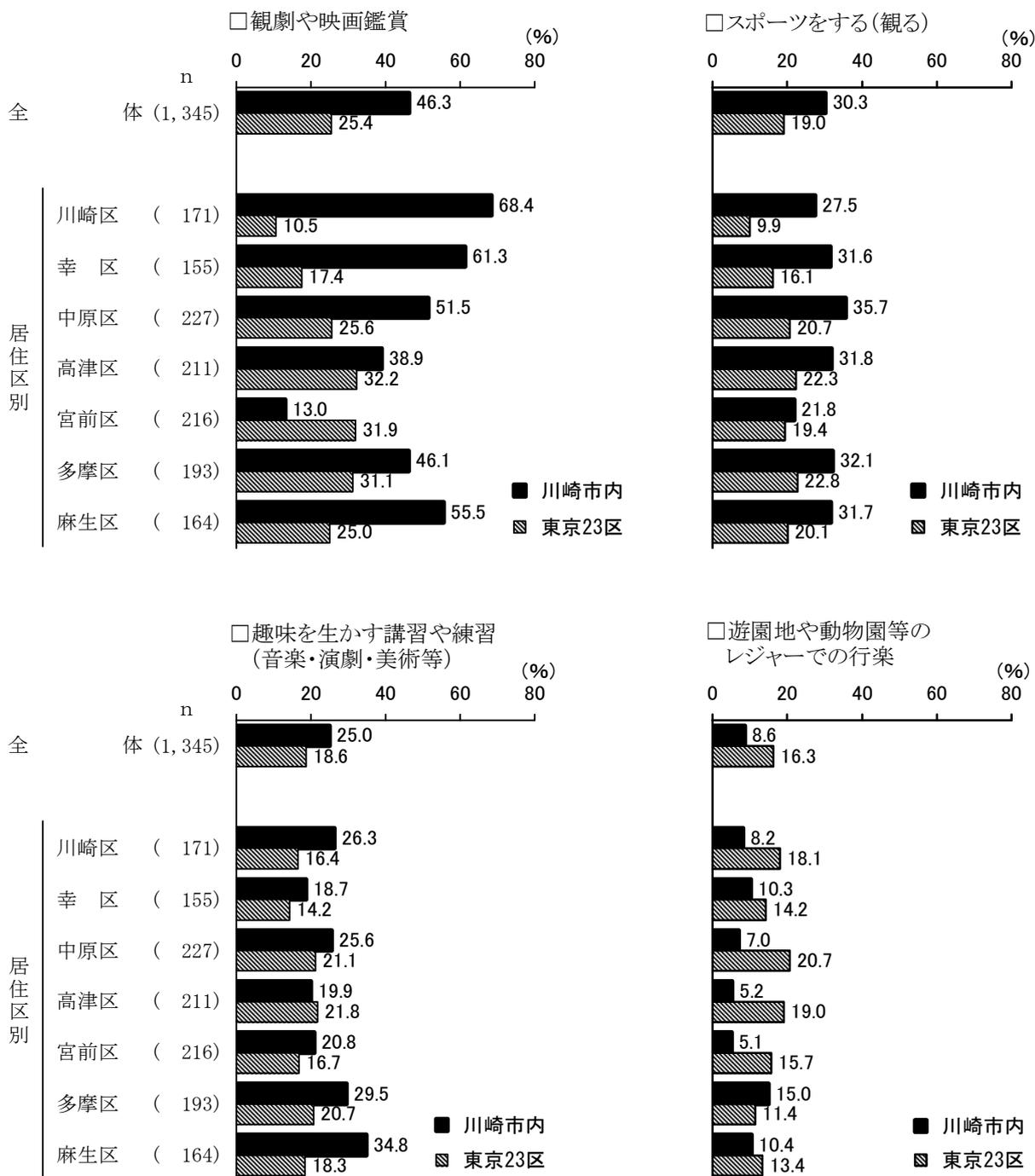
【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「図書館の利用」は、中原区(74.0%)が最も多く、『東京23区』の利用率は、いずれの居住区においても1割未満と少なくなっています。「レストランなどでの飲食」は、川崎市(72.5%)が最も多く、『東京23区』の利用率は、麻生区(26.2%)が最も多くなっています。「自然に親しむための近距離の行楽」は、多摩区(40.9%)が最も多く、『東京23区』の利用率は、いずれの居住区においても1割未満と少なくなっています。

図表3-7 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別【東京23区内型】



【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、中原区(57.7%)が最も多く、『川崎市内』の利用率は、いずれの居住区においても1割未満と少なくなっています。「音楽会や美術展」は、中原区(57.3%)が最も多く、『川崎市内』の利用率は、川崎区(14.6%)が最も多くなっています。「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」は、多摩区(63.7%)が最も多く、『川崎市内』の利用率は、川崎区(31.6%)が最も多くなっており、『東京23区』の利用率を上回っています。

図表3-8 行動範囲(『川崎市内』と『東京23区』)との比較、居住区別【非限定型】



『川崎市内』や『東京23区』に限らず平均的な利用があると思われる【非限定型】4項目を、居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」は、川崎区(68.4%)、幸区(61.3%)で『川崎市内』が6割台と多くなっています。「スポーツをする(観る)」は、いずれの居住区においても『川崎市内』が『東京23区』を上回っています。「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」は、高津区を除き、『川崎市内』が『東京23区』を上回っています。「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」は、多摩区を除き、『東京23区』が『川崎市内』を上回っています。